

感染者数増加傾向！ 新型コロナウイルス感染症

令和3年4月14日

富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和3年第14週分・4月5日～4月11日)

《インフォメーション》

●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、4月11日時点で503,403例となり、9,382例の死亡が確認されています。全国の新規感染者数(図;折れ線グラフ)は再び増加傾向にあり、1府2県を対象に、4月5日からまん延防止等重点措置の適用が開始されました。12日からは、さらなる感染拡大を受けて1都1府1県が対象区域に追加されています。本措置では、知事が定めた区域での飲食の場での対策の徹底を求めるとしています。具体的には店の営業時間を午後8時までに短縮、カラオケ設備の利用の自粛等が含まれます。

県内では、今週、90例の新規感染者が報告され、4月11日時点の累積感染者数は1,060例になりました(図;棒グラフ)。この3週間は感染経路不明例が増加し、市中での感染リスクが高まっています。このような現状を鑑み、県は4月14日に3回目の感染拡大警報「富山アラート」を発令する見込みです。また、従来株に比べて感染性が高まるとされる変異株(N501Y)の、県内における累積検出数は83例となりました(4月13日時点)。ゲノム解析結果から、これらの変異株は、英国由来株であることが判明しています。

新年度が始まり、人の移動や行事が多い時期となり、感染リスクが高くなっています。県民が行うべき感染対策は、変異株の場合も従来株の場合と同様です。マスクの着用、手洗い、ソーシャルディスタンス、3密や飲食を伴う会合を控える等、基本的な感染症防止対策の徹底を今まで以上に心がけましょう。発熱等の症状があり医療機関を受診する際には、電話相談のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(厚生センター、保健所等)にご連絡ください。

《全数報告の感染症》

新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 90件

二類感染症 結核 4件 (①第12週診断分:70歳代、女性 ②③共に80歳代、男性 ④90歳代、女性)

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件 (第12週診断分:30歳代、男性、O128、VT1VT2)

四類感染症 レジオネラ症 1件 (80歳代、男性、肺炎型)

五類感染症 ウイルス性肝炎 1件 (40歳代、男性、B型)

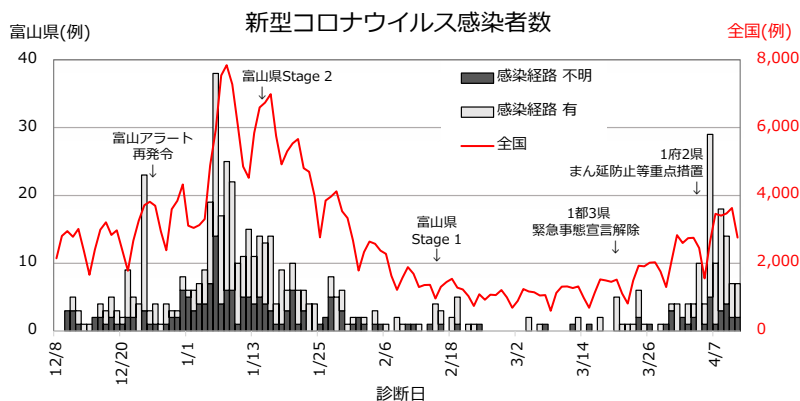
侵襲性肺炎球菌感染症 1件 (70歳代、女性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1位	RSウイルス感染症	2.93 (↑)	1.62
2位	感染性胃腸炎	2.52 (↓)	3.14
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.21 (↑)	1.00
4位	咽頭結膜熱	0.34 (↑)	0.24
	突発性発しん	0.34 (↑)	0.24
6位	伝染性紅斑	0.07 (↑)	0.00

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます

アドレス <https://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>



○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第14週 令和3年4月5日～令和3年4月11日）

分類	疾患	今週報告分（第14週）							累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	3	5	15	4	63		90	24	57	90	26	268	6	471
二類感染症	結核		1		1	1		3	3	3	5	4	12		27
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症										2				2
四類感染症	E型肝炎												1		1
	レジオネラ症		1					1		1	2		1		4
五類感染症	ウイルス性肝炎	1						1	1						1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										1	1			2
	急性脳炎										1				1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										1				1
	後天性免疫不全症候群								1				1		2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1				1
	侵襲性肺炎球菌感染症					1		1	1		1		5		7
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒										1	1		8	10
	破傷風											1			1
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										5				5
	RSウイルス感染症	13 3.25	4 1.33	2 0.25		66 6.60		85 2.93	20	6	4		216		246
	咽頭結膜熱		3 1.00	4 0.50		3 0.30		10 0.34	17	20	67	1	41		146
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6 1.50		17 2.13	2 0.50	10 1.00		35 1.21	32	20	315	60	101		528
	感染性胃腸炎	12 3.00	11 3.67	10 1.25	1 0.25	39 3.90		73 2.52	245	128	183	37	288		881
	水痘								1	3	11	2	14		31
	手足口病								1		4	1	2		8
	伝染性紅斑				1 0.25	1 0.10		2 0.07			4	1	5		10
	突発性発しん	2 0.50		6 0.75		2 0.20		10 0.34	17	13	48	20	43		141
	ヘルパンギーナ	1 0.25						1 0.03	15						15
	流行性耳下腺炎								2	2	3	1	2		10
	流行性角結膜炎									1					1
	細菌性髄膜炎												1		1
	無菌性髄膜炎												1		1
	マイコプラズマ肺炎									1	5	1			7
	インフルエンザによる入院患者（※2）											7			7

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 その他は居住地非公表分です。 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週（8月31日）～の集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（令和3年3月分）

		3月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症			1		10	11			4		23	27
				0.33		2.50	1.10						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	性器ヘルペスウイルス感染症					4	4		2	2		9	13
						1.00	0.40						
	尖圭コンジローマ				1	3	4				1	6	7
					1.00	0.75	0.40						
	淋菌感染症					1	1					2	2
						0.25	0.10						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		2	2		3	7	3	5	6	2	10	26
			2.00	2.00		3.00	1.40						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			3			3	2		4			6
				3.00			0.60						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。